

## 地方創生推進交付金に係る実施結果報告書

事業番号	No.1			担当部課名	産業環境部商工港湾課		
(1)事業の名称	塩竈水産品ICT化事業						
(2)事業の概要	<p>本市で製造される水産加工品のデータベース化等を行うことにより、流通の効率化・販路拡大を図り、水産加工業の振興に取り組むもの。</p> <p>平成28年度に地方創生加速化交付金を活用し、市内で製造される水産加工品のデータベース化を行い、「いつでも・どこでも・何でも・誰でも」簡単に商品情報などを入手できる環境を整備した。</p> <p>平成29年度からは地方創生推進交付金を活用し、市場調査や消費者等を対象としたモニター調査、データベース化によって整備した商品情報をもとに商談会や各種フェア等を開催し、新たな商品開発や販路拡大等につなげる取組を実施している。</p>						
(3)事業期間	事業始期	平成29年6月		事業終期	令和2年3月		
(4)事業費							
①計画額	30,000,000 円(平成29年度～令和元年度)						
②実績額	5,596,700 円(令和元年度)						
(内訳)	ア. 委託費(フェア開催管理)986,700円 イ. 補助金(水産品協議会)4,610,000円						
③過年度実績額	9,331,870 円(平成30年度)						
(内訳)	ア. 旅費(フェア開催職員旅費等)1,083,230円 イ. 役務費(フェア参加検便検査)10,800円 ウ. 委託費(フェア開催管理)3,237,840円 エ. 補助金(水産品協議会)5,000,000円						
(5)本事業における重要業績評価指標(KPI)							
①指標	ア. (仮称)塩竈水産商社の設立 イ. 水産加工品生産高 【市独自目標】①商談会等参加による引き合い・成約等の率						
②指標値 (令和元年度目標値)	ア. 令和2年3月に1社設立 イ. 事業開始時点567億円⇒608億円 【市独自目標】①目標 商談機会の10%						
(6)令和元年度事業終了時における実績値							
①実績値	ア. 輸出窓口(地域商社機能)を設置 イ. H30:608.8億円(R1:調査中) 【市独自目標】①実績 商談機会の15.4%(39件中6件)						
②事業効果 (担当課検証)	別紙記載のとおり						
(7)実績値を踏まえた事業の今後について							
①今後の方針	①商品PRの継続・認知度の向上②国内販路拡大③輸出規模拡大④サイトの充実						
②理由	<p>①メールマガジンに代わるより安価な情報発信手段として、「おいしおがまFacebook」を立ち上げ、効率的で継続的なPRを行うことで、国内・海外における塩竈産品の認知度向上と商談機会の増加を図る。</p> <p>②近県における塩竈産品の定番化に取り組むとともに、国内各種商談会や塩釜フード見本市等に継続参加し国内販路の拡大を図る。</p> <p>③これまで獲得した香港・マレーシア商流の輸出規模拡大に向け、各国の食・文化になじむ商品の抽出、必要に応じた商品仕様の調整アドバイスを行うとともに、輸入卸・輸出商社等への商品提案やサンプル提供営業を継続する。</p> <p>④商品情報を積極的に収集し「おいしおがまFCPシート」として整理・サイト登録を推進することで、サイトの充実を図るとともに、国内外へのPRや商談資料として活用する。</p>						